

かぼちゃ・・・Ⅱ

担当者 技能研究員 三上 益由

試験課題名	早出品種比較栽培試験
目的	本町に適した多収・高品質の品種を選定するため比較検討し普及に資する
期待される成果	優良品種の導入により、生産の安定と経済性の向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会南瓜部会

1 供試品種・資材

品種

※くりりん(武蔵野種苗) 味 平(みかど協和) くりあじ(福 泉)
みやこ(サカタ) メルヘン(サカタ) 栗みやこ(サカタ)
いかずち(ナント)

※基準品種

マルチ資材

生分解性マルチフィルム(サンブラック工業株式会社)

・サンブラックNL95

2 耕種概要

土 質 ～ 埴壤土

前 作 ～ 越冬キャベツ

播 種 日 ～ 4月26日 定 植 日 ～ 5月23日 収 穫 日 ～ 8月27日

整枝方法 ～ 子蔓2本仕立て

栽植密度 ～ 畦幅3m×株間0.75m 444株/10a当たり

3 土壌診断結果と施肥量

(1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
6.2	0.052	57.9	50.9	54.4	200.9	6.1

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

炭カル ～ 50kg 堆 肥 ～ 2,000kg

(3) 施肥内容 (成分量/%)

基 肥 ～ S 0 8 2 (10 - 18 - 12) 5月22日 全層施肥

分 肥 ～ S 4 4 4 (14 - 4 - 14) 7月 5日 側条施肥

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

		N	P	K
基 肥	S 0 8 2 80kg	8.0	14.4	9.6
分 肥	S 4 4 4 20kg	2.8	0.8	2.8
合 計		10.8	15.2	12.4

4 調査項目

生 育 調 査 ～ 播種日・発芽期・発芽率・定植日・雌花開花期・着果期

収穫日・成熟日数・草勢・うどんこ病

果実特性調査 ～ 果形・果皮色

収 量 調 査 ～ 10a当たり収量・収量比・1株当たり平均個数・平均一果重・規格別割合

5 生育調査

項目	品種	くりりん	味平	くりあじ	みやこ	メルヘン	栗みやこ	いかずち
播種日		4月26日						
発芽期		5月7日	5月9日	5月7日	5月9日	5月8日	5月8日	5月7日
発芽率(%)		100	100	100	100	100	100	100
定植日		5月23日						
雌花開花期		6月25日	6月26日	6月25日	6月25日	7月2日	6月25日	6月26日
着果期		7月2日	7月3日	7月3日	7月3日	7月10日	7月4日	7月3日
収穫日		8月27日						
成熟日数		63	62	63	63	56	63	62
草勢(強5~1弱)		3	3	4	4	3	3	3
うどんこ病(無0~4甚)		1	1	1	1	1	1	1

6 果実特性・収量調査

項目	品種	くりりん	味平	くりあじ	みやこ	メルヘン	栗みやこ	いかずち
果形		扁円	扁円	腰高	扁円	扁平	扁円	扁円
果皮色		黒緑	濃緑	濃緑	黒緑	濃緑	濃緑	極濃緑
10a当たり収量(kg)		2,540	3,330	3,268	2,655	2,797	3,019	3,206
収量比(%)		100	131	129	105	110	119	126
1株当たり平均個数		2.6	3.0	3.2	2.6	3.0	4.0	3.8
平均一果重(kg)		2.2	2.5	2.3	2.3	2.1	1.7	1.9
規格別割合(%)	良果	94	85	86	88	95	92	79
	不良果	6	15	14	12	5	8	21

7 防除歴

殺虫剤	6月19日	エルサン乳剤	1,000倍	8月17日	エルサン乳剤	1,000倍
	7月30日	アディオン乳剤	2,000倍			
殺菌剤	7月30日	モレスタン水和剤	2,000倍	8月17日	ポリベリン水和剤	1,000倍

8 生育経過と考察

- ① 育苗は12cmポットを使い播種を4月26日に行った。発芽期は、くりりん・くりあじ・いかずちが5月7日に迎え、5月9日には全ての品種が出揃った。発芽率は全品種100%となった。
- ② 定植は全品種とも5月23日に行った。定植後5日目の5月28日に霜が降り、大きな被害を受け生育が心配されたが、その後天候にも恵まれ順調に回復していった。
- ③ 雌花の開花は6月25日~26日で6品種が順次開花した。しかし、メルヘンはやや遅れて7月2日となった。着果期では、くりりんの7月2日を最初に7月4日までには他5品種が着果したが、これもメルヘンがやや遅れ、7月10日となった。
- ④ 収穫は8月27日に行った。成熟日数はメルヘンが56日、その他の品種は62~63日となった。10a当たりの収量は、味平の3,330kgが最も高く、他の5品種も基準品種であるくりりんの収量よりも優れた結果となった。
- ⑤ 1株当たりの平均着果個数は全品種2.6~4.0個となった。規格別良果の割合は、いかずちは79%であったが、そのほかの品種は85~95%という優れた結果となった。
- ⑥ 6ページの品種系統試験の平均収量1,642kg/10aと比較すると、早出し試験の全品種が収量や良果割合でも大きく上回った。この好成绩の要因は品種や栽培内容によるものなのか、天候の影響が大きいのか、今後更に検討していきたい。